

EQ カーブ対応トーンコントロールの調整(17)(HP 収載)

—Marantz7 による調整(6)—

1. 始めに

前報(16)に引き続き、Marantz7 によるトーンコントロールの調整の効果イコライザーカーブ毎に詳細を詰めていきます。

2. トーンコントロールの調整方法

次の再生経路を設定します。

再生経路 1

LINN LP-12→ZANDEN Model 120 (EQ 可変) →Brooklyn DAC+

*ZANDEN Model 120 の EQ カーブの最適条件で再生する。

再生経路 2

LINN LP-12→ZANDEN Model 120 (RIAA 固定) →Marantz7 (ライン入力)

→Brooklyn DAC+

*ZANDEN Model 120 は RIAA に固定し、Marantz7 のトーンコントロールの調整を行い、要時 Brooklyn DAC+で位相反転を加える。

再生経路 3

Thorens TD124→My Sonic STAGE 1030→Marantz7 (フォノ入力) →

Brooklyn DAC+

*Marantz7 は RIAA でトーンコントロールの調整を行い、要時 Brooklyn DAC+で位相反転を加える。

*Marantz7 の Columbia カーブ選択も試す。

音源は EQ カーブの異なるアナログ盤を準備します。今回は Columbia カーブと思われる次の盤を選択します。

Columbia M2S 728

ショパン バラード 1 番

ホロヴィッツ

CBS Sony 2BAC 1635

ハイドン ロンドントリオ 1 番～6 番

ランパル/スターン/ロストロポーヴィチ

3. トーンコントロールの調整結果

再生経路 1 では、ショパンのバラード 1 番は、Columbia、R、第 4 時定数 Low で再

生し、ホロヴィッツの鋭いタッチと、抑揚、緩急自在のピアノズムが聴き取れます。ハイドンのロンドントリオは、**Columbia**、**R**、第4時定数**Low**で再生し、フルートのふくよかさ、ヴァイリンの切れ、チェロの落ち着いた音色が聴き取れ、デジタル録音らしい明晰さがあります。

再生経路2では、ショパンのバラード1番は、**RIAA**、**N**、第4時定数**High**で再生し、**Marantz7**のトーンコントロールの**Treble**を2ノッチ、**Bass**を1ノッチ上げ、**Brooklyn DAC+**で位相反転することにより、ホロヴィッツらしいタッチと低域の量感が出てきます。こういった対応をとらないと、音が鈍ってホロヴィッツらしい強靱なタッチが出てきません。

ハイドンのロンドントリオは、**RIAA**、**N**、第4時定数**High**で再生し、**Marantz7**のトーンコントロールの**Treble**を2ノッチ、**Bass**を1ノッチ上げ、**Brooklyn DAC+**で位相反転することにより、響きの豊かさがでてきます。こういった対応をとらないと、平凡で焦点の定まらない音になります。

再生経路3では、ショパンのバラード1番は、**RIAA**で再生し、**Marantz7**のトーンコントロールを再生経路2と同様にし、**Brooklyn DAC+**で位相反転することにより、再生経路2に比べ響きが豊かすぎるくらいになります。また、**Marantz7**のトーンコントロールをフラットに戻し、**Columbia**カーブの設定に替えますと**RIAA**で再生し、**Marantz7**のトーンコントロールを調整したときの音に似ていますが、**Marantz7**の**Columbia**カーブの設定の方がより自然な印象です。

ハイドンのロンドントリオは、**RIAA**で再生し、**Marantz7**のトーンコントロールを再生経路2と同様にし、**Brooklyn DAC+**で位相反転することにより、ふくよかな響きの音になります。また、**Marantz7**のトーンコントロールをフラットに戻し、**Columbia**カーブの設定に替えますと、**RIAA**で再生しトーンコントロールを調整したときの音の同様、ふくよかな響きがしますが、**Marantz7**の**Columbia**カーブの設定の方が、よりバランスの良い音になります。

4. まとめ

イコライザーカーブが**RIAA**でない盤を**RIAA**で再生した場合の違和感を**Marantz7**のトーンコントロールを調整することで、一定程度カバーすることができました。なお、**Marantz7**は**Columbia**カーブの設定がありますので、**Marantz7**のフォノステージを使用する場合は、トーンコントロールを調整することは不要ということになります。

以上